

# LC と GC の基礎ウェビナー

— PART 3 —



## 開催概要

| 主催 |

アジレント・テクノロジー株式会社  
林純薬工業株式会社

| 日時 |

2024年4月19日(金) PART 3  
10:00 - 11:00

| 会場・定員 |

オンライン 500名

| プログラム |

右記の通り

| 参加費 |

無料

| 申し込み方法 |

アジレントウェブページから



<https://aglt.co/2now>

問合せ先:

アジレント・テクノロジー株式会社  
セミナー事務局  
電話: 0120-477-111  
e-mail: [lsc\\_a\\_agilent@agilent.com](mailto:lsc_a_agilent@agilent.com)

林純薬工業株式会社

試薬化成品部分分析用標準品・  
受託合成グループ  
e-mail: [mpd.ml@hpc-j.co.jp](mailto:mpd.ml@hpc-j.co.jp)

クロマトグラフィーの基礎を学びたい方 必見です!

- GC はよくわかるけれど LC は苦手
- LC を使ってきたけれど GC は初心者
- LC と GC の原理の違いを知りたい方

などを対象に基礎をわかりやすくお話しします。

「いまさら聞けない」が聞けるウェビナーです。

今回は LC と GC の基礎シリーズの PART 3 になります。PART 1 と PART 2 に参加していても理解できる内容になっています。PART 1 と PART 2 にご興味ある方はオンデマンド版をご覧ください。

みなさまのご参加をお待ちしております。

|               |   |
|---------------|---|
| 10:00 - 10:05 | ご挨拶   |
| 10:05 - 10:10 | <b>GC、LC のよくあるご質問と最新技術の取り入れ方</b><br>GC ではキャピラリーカラムを用いるため注入法に関する質問がよくあります。LC では分離モードが豊富なため、溶媒種やポンプの選び方に関する質問がよくあります。疑問を解決することで最新技術を取り入れやすくなります。<br>アジレント・テクノロジー株式会社 大塚 剛史、林 慶子 |
| 10:10 - 10:25 | <b>LC の失敗しない分析の工夫と高速分析への応用</b><br>LC 分析の疑問にお答えしつつ、快適にルーチン分析を行うコツを紹介します。また、日々の分析を早く終わらせるため、高速高分離を実現する微粒子径充填剤は有効です。UHPLC がなくてもすぐに試せる方法を紹介いたします。<br>アジレント・テクノロジー株式会社 林 慶子        |
| 10:25 - 10:40 | <b>GC のパックドカラムからキャピラリーカラムへのメソッド移行</b><br>パックドカラムとキャピラリーカラムでは分離が異なります。キャピラリーカラムが主流になる中、パックドカラムからキャピラリーカラムへメソッド以降する場合のコツやキャピラリーカラムのメリットを説明します。<br>アジレント・テクノロジー株式会社 大塚 剛史        |
| 10:40 - 10:50 | 質疑応答  |



PART 1 と PART 2 のオンデマンドは  
こちらから視聴いただけます

<https://aglt.co/PqIH>

# HPC/Agilent セミナーウィーク 2024 全プログラム

- ・参加登録いただくと、すべての講演を視聴いただけます。
- ・各講演の間には休憩時間が入ります。
- ・プログラムは予告なく変更になる場合があります。

| 時間  | タイトル   | 演者情報 (部署・氏名)   |
|---|--|--|
| <b>Day 1 : 4月16日 (火) 化成品・材料分析セミナー</b>             |  |  |
| 13:30 - 13:40                                     | ご挨拶  |  |
| 13:40 - 14:40                                     | <b>特別講演</b><br>カーボンニュートラル実現に貢献する高性能次世代電池の開発と将来   | 京都大学 大学院工学研究科 安部 武志 先生                                   |
| 14:50 - 15:20                                     | カールフィッシャー水分測定  | 日本ハネウェル株式会社 斎藤 新之祐 様                                     |
| 15:30 - 16:10                                     | 電池材料の元素分析 ～リチウムイオン電池～<br>ハンドヘルド FTIR での材料の分析事例   | アジレント・テクノロジー株式会社<br>株式会社エス・ティ・ジャパン 岸 靖之 様                |
| 16:20 - 16:50                                     | 耐性試験に用いる人工液の活用   | 林純薬工業株式会社  |
| <b>Day 2 : 4月17日 (水) 食品分析セミナー</b>                 |  |  |
| 10:00 - 10:10                                     | ご挨拶  |  |
| 10:10 - 11:10                                     | <b>特別講演</b><br>オフフレーバー分析の実際について  | 上田 泰人 先生   |
| 11:20 - 11:50                                     | におい分析を始めるにあたって ～オフフレーバーワークフロー初級編～  | アジレント・テクノロジー株式会社   |
| 12:00 - 12:30                                     | オフフレーバーキットと使い方   | 林純薬工業株式会社  |
| 12:40 - 13:10                                     | メタボローム解析技術を用いた食品中の機能性成分の一斉解析手法のご紹介   | アジレント・テクノロジー株式会社   |
| 13:30 - 14:50                                     | <b>特別講演</b><br>SFC-TOF MS の特性を生かした残留農薬分析<br>～標準添加回収検量線による真値へのアプローチと SFC 特有のイオン化に関する考察～   | 株式会社食品検査・研究機構 安藤 孝 先生                                    |
| 15:00 - 15:50                                     | MassHunter 最新機能を用いた残留農薬分析における<br>データ解析の効率化と自動化   | アジレント・テクノロジー株式会社   |
| 16:00 - 16:30                                     | 機器のトラブルシューティングを数日から数分に短縮する方法   | アジレント・テクノロジー株式会社   |
| 16:30 - 16:50                                     | 残留農薬分析に使用する標準品、標準液の管理<br>トークセッション  | 林純薬工業株式会社  |
| <b>Day 3 : 4月18日 (木) 水道水質・環境分析セミナー</b>            |  |  |
| 10:00 - 10:10                                     | ご挨拶  |  |
| 10:10 - 11:30                                     | <b>特別講演</b><br>水道水質検査の基礎と応用 1 基礎編：告示法・通知法を理解するためのポイント  | 国立医薬品食品衛生研究所<br>生活衛生化学部 小林 憲弘 先生                         |
| 11:40 - 12:10                                     | 正確な濃度調製のために知っておきたい基本の基   | 林純薬工業株式会社  |
| 12:30 - 13:00                                     | ICP-MS, ICP-OES の分析における自動化・省力化のご提案   | アジレント・テクノロジー株式会社   |
| 13:10 - 14:30                                     | <b>特別講演</b><br>水道水質検査の基礎と応用 2 応用編：検査方法の最新情報と水質検査の将来予測  | 国立医薬品食品衛生研究所<br>生活衛生化学部 小林 憲弘 先生                         |
| 14:40 - 15:40                                     | LC/MS の最先端<br>～水道水質検査ワークフローの効率化と PFAS 分析の最前線～<br>GC/MS の最先端<br>～代替キャリアの最新事情と MassHunter 最新機能による解析時間短縮のための新たな提案～<br>FTIR を用いた環境中のマイクロプラスチック定性分析 | アジレント・テクノロジー株式会社<br>アジレント・テクノロジー株式会社<br>アジレント・テクノロジー株式会社 |
| 15:50 - 16:20                                     | 水道水質、環境分析に役立つ試薬のご紹介  | 林純薬工業株式会社  |
| 16:20 - 16:40                                     | トークセッション   |  |
| <b>Day 4 : 4月19日 (金) 午後 機器分析に役立つデータサイエンスウェビナー</b> |  |  |
| 13:00 - 13:05                                     | ご挨拶  |  |
| 13:05 - 14:10                                     | <b>特別講演</b><br>食・農データサイエンス：<br>コーヒー香気成分の分析データ・化学構造処理によるデータ・マイニング   | 奈良先端科学技術大学院大学 金谷 重彦 先生                                   |
| 14:20 - 15:05                                     | 残留農薬分析のためのデータサイエンス活用事例紹介   | 林純薬工業株式会社  |
| 15:10 - 15:55                                     | 失敗しない多変量解析のための質量分析データ取得・解析のポイント  | アジレント・テクノロジー株式会社   |

アジレント・テクノロジー株式会社

〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1  
TEL.0120-477-111

DE99694202

